

# 岩手県立軽米高等学校 PTA会報第104号

2019 (令和元) 年 7 月 26 日

## PTA会長あいさつ



PTA会長  
中里 将幸

日頃よりPTA活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さる五月十日の総会におきまして、PTA会長に選任をされました中里将幸と申します。新井田前会長におかれましては、昨年度の七十周年記念事業など、二年間の活動において、大きな事業を展開されてきました。その功績に敬意を表しますとともに、会員の皆さん、地域の皆さんと一体になっての事業成果を今後の活動に活かし、発展させて参りたいと考えております。微力ではございますが、生徒たちのため、軽米高校発展のために、精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

さて、この度、PTA会長を務めさせていただくにあたり、軽米高校に対する深い想いと願いを述べさせていただきます。私自身、卒業生として、軽米高校で過ごした三年間が人生において大きな力を与えてくれたことに感謝をし、今も変わらぬ良き伝統が続いていることへの誇りを持っておりました。高校時代は、先生方から勉強だけではなく、人生の先輩として多くを学び、部活に熱中し、将来に向けて自分自身を見つめ進む道を模索する大切な時だったと思っております。そのような時期を軽米高校で過ごし、成長させていただいた一人として、この軽米高校で一人でも多くの生徒が学び、成長をし、社会に巣立ってほしいと願っております。

す。このように、卒業生や地域の期待を背負っている軽米高校のPTAという重責も感じておりますが、会員の皆さん、先生方、地域の皆さんと力をあわせ活動して参りますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

最後に、今年度のPTA活動は、例年の行事に加え、研修旅行が開催されます。会員同士の交流と絆を深める良い機会でありますので、積極的に参加をしていただきたいと思います。このように様々な活動を通し団結を図ることで、生徒たちの充実した高校生活に繋がるものと思っております。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

令和元年度PTA役員 (敬称略)			
会長	幸誠守 広勝	副会長	子美夫
副会長	里山 端淵橋	監事	晶直英 (副校長)
副会長	中上田 井戸高	監事	坂浦 戸
副会長	井坂 井松川	監事	井坂 戸

## PTA・教育振興会総会 研修会

令和元年五月十日(金)に軽米高校視聴覚室

にて行われました。平成三十年度の事業報告、会計決算報告があり、それぞれ承認されました。今年度PTA会長は、新井田一徳様から中里将幸様に代わり、PTA役員理事、保護者理事、学級理事、事務局、教育振興会役員理事が新しく結成され、令和元年度の事業計画、各委員会活動について案が報告されました。その他として、今年度からPTA会報と同窓会報を一冊に

まとめる案がありました。そして三年に一度のPTA研修旅行については、できるだけたくさんの方の参加を頂きたく、アンケートを実施し皆さんの意見を賜り実施に向けて、今後の講演会や、活動についてできるだけたくさんの方に参加、ご協力をお願いしたい旨が高橋校長よりありました。

総会の前にPTA研修会が行われました。LINE株式会社 柴田保文氏 により、コミュニケーションアプリ「LINE」に関する機能、子供の利用例、リスク対策等。実際にスマホを使つての講習、資料やカードなどで講演いただきました。インターネット、LINE、SNSなど、とても便利で楽しいはずのものが、とんでもないトラブルを引き起こします。現実問題として子供たちが巻き込まれています。私たち親も知らないうちに子供を傷つけていることを知りました。言葉一つ、文章一つ、ちょっとした行動の捉え方が人によって、全然違うということが良くわかりました。当たり前だと思つていますが、他人にはそうではないことなど、この研修で改めて学びました。予防ではありませんが、やはり会話をたくさんすること、学校や家庭での普段の過ごし方を今一度考え直してみるのも必要かなと思つました。

(広報委員 一條真紀子)



## 校長あいさつ



校長

高橋 正勝

P T A会員の皆さまには、日頃から本校の教育活動に對しまして、ご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。また、昨年の創立七〇周年記念事業の実施につきまして、皆さまからの多大なるご尽力を賜り、記念式典等諸行事を盛大且つ立派に終えることができました。この場をお借りして、お礼申し上げます。

さて、今年度の軽米高校の重点目標は、「新たな歴史と魅力の創造」「進路目標の実現」「中高一貫教育の一層の充実」の三つでございます。この目標をそれぞれの取組計画に具体化し、日々の実践として充実させて参ります。そして、軽米高校の「スクールアイデンティティ(軽米高校らしさ)」として、全面に押し出していきたいと考えております。

今春三月に卒業した四十七名の進路先は、民間就職十三名、公務員三名、国立大学七名、私立大学四名、短期大学四名、専門学校等十六名という立派なものでした。今年度も引き続き出口保証には、全力を注いで参ります。

新年度の生徒の様子ですが、入学生は軽米中から四十四名、九戸中と中沢中から各一名の四十六名を迎え、全校百三十五名でスタートを切り、順調に三ヶ月が過ぎました。五月に行われました高校総体の結果は、陸上競技部三年の久保美乃さんがハンマー投げで一位、砲丸投げで二位、同じく戸田真人君がハンマー投げで五位に入賞しました。また、卓球部男子団体が三位、三年の池端蓮君がシングルスで十八位に入賞しました。両部の個人・団体入賞者は東北大会出場となりました。また、久保美乃さんは、八月に大阪で行われる全国高校陸上競技選抜大会への出場権も獲得しました。

私は軽米高校に二度勤務してきて、本校には細やかな生徒指導、信頼できる進路指導、個に応じた学習支援、伝統ある学校行事、手厚い町の教育振興策など、生徒本位の大変充実し

た教育環境があるとしみじみ感じております。ただ、生徒数の減少に伴う部活動の部員不足や諸会計の制約などの課題があります。しかし、軽米高校の七〇年の歴史の中にはそれ以上の困難もあつたと思ひますが、その度に叡智を傾け解決してきました。課題克服の術を校史から学び、ぜひ軽米高校が夢を語れる「青春道場」として、さらに躍動するよう頑張っていくます。そのためにも連携中学校からの入学率向上の取組として、軽米高校の良さを地域に周知していきます。また、近隣中学校や八戸市内の県境にある中学校にも説明を重ね、軽米高校を理解していただくなど、広域的学校運営にも取り組んでいきたいと考えております。

生徒一人ひとりが自分の可能性を発見し、軽米高校を母校にして良かったと思えるよう、教職員一丸となって生徒に向き合い、進路実現に邁進する所存でおります。今後ともP T A会員の皆さまからのご支援とご協力をお願い申し上げ、挨拶いたします。

## 新井田前P T A会長 東北表彰

令和元年六月五日(水)に行われた令和元年度岩手県高等学校P T A連合会定期総会並びに研究協議会において、本校の前P T A会長の新井田一徳さんが、県高P連表彰を受けられました。さらに、七月五日(金)に行われた令和元年度第六十八回東北地区高P連山形大会でも個人表彰を受けられました。

新井田さんは平成二十九年から平成三十年までの二年間、会長としてP T A活動の活性化にご尽力されました。県高P連県北地区高等学校教育協議会の実施、また、平成三十年には県高P連副会長として活躍していただきました。この功績に敬意を表すると共に、二年間の活動に感謝申し上げます。



岩手県立軽米高等学校  
教育振興会

# 新会員より

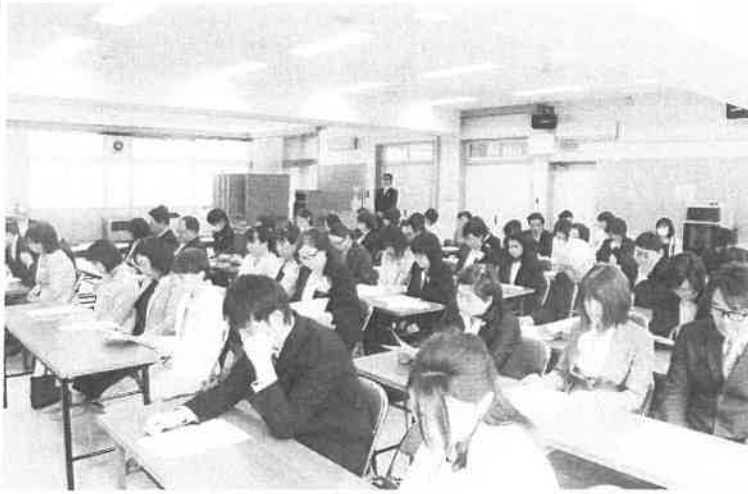
荻谷朋幸

今年度、保護者理事を務めさせていただく一年二組の荻谷と申します。

三十一年前、私が軽米高校在学中に昭和から平成の時代へと変わり、今年、令和へと変わりました。新しい時代、生徒達には、たくさん希望と探究心を持って生活して欲しいと思います。学業や部活動だけではなく、地域交流や家庭の中にも「学び」のチャンスが溢れているのですから。

また、四月の校長先生の講話に【進路目標は変わってよい。社会貢献、幸せを見失わない。】とあり、私は強く共感しました。これからの三年間、様々な経験をし、多くの決断をする場面がある事でしょう。進路や今後の目標など、迷い、悩んだ時は、友達・先生・親へ相談して頼って欲しいです。そして我々保護者達も、共に考え、共に成長していければと思います。

生徒たちが、安心して安全に過ごせる環境づくりができるよう、PTA活動に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



# 生徒会活動

生徒会長 五郎丸 千尋

生徒会では昨年度、自分の将来のためにすべきことを考え、自ら行動してほしいという思いを込め、「実践躬行」をスローガンに掲げ活動してきました。昨年度は、中高の関わりを深めるため、軽米中学校生徒会執行部と定期的に交流の場を設けました。そして、中高の生徒会執行部合同であいさつ運動を計画・実行しました。このあいさつ運動が、お互いの良い刺激になったと感じています。PTAの皆さんともあいさつ運動を行い、爽やかなあいさつをする生徒が増えたと思います。今後も、これらの取り組みを続け、あいさつを習慣づけていきたいと考えています。また、中高一貫クリーン作戦も行い、町の清掃活動により地域貢献をすることができました。その中で、生徒同士のつながりを深めるためにレクリエーションも行い、活動の中でコミュニケーションを活発にすることもできました。

# 各部活動の紹介

## 陸上競技部

三年一組 下斗米海規

今回の高校総体は、全員が納得のいく結果を出すことはできませんでしたが、しかし、高校総体という大きな舞台で、誰一人萎縮することなく、思い切った競技に臨むことができました。この結果は部としてのチームワークや、顧問の先生や保護者の方の支えがあったものだと思います。とても感謝しています。三年生にとっては、記録の良し悪しに関係なく、競技者として、一人の人間として、とても大きな成長を実感できた五日間でした。そして、一・二年生は競技の課題や、競技以外の課題が沢山みつかったと思うので、これからの練習では課題と向き合い、ひとつひとつの行動を考えて活動し、競技者としても一人の人間としても成長してほしいと思います。

## バスケットボール部男子

二年二組 松浦 駿

男子バスケットボール部は、県高総体で三回戦敗退という悔しい結果だった。私たちの目標であるベスト8は達成できなかった。しかし、私たちの進歩に繋げる事ができた。どの試合もチームが一体となり全力でプレーすることができた。葛巻高校との合同チームで一年間練習してきたことを全て発揮することができたと思う。試合に出たほとんどの選手が得点を決めることができて本当に良かった。部員全員の心に残る試合ができた。この悔しさをバネにより高みを目指していきたいと思う。

## バスケットボール部女子

三年二組 中里悠佳

最後の高総体を前に、思うような練習

## 卓球部男子

三年二組 池端 蓮

私たち男子卓球部は念願だった団体戦とシングルスで東北大会に出場することができました。日頃から基本練習を大切に、課題だったサーブレシーブを強化することと体力向上のため毎日走り込みを行って部活動に打ち込んできました。

東北大会では自分たちの思うようなプレーをすることができず、どちらも初戦敗退で終わりました。新人戦では県ベスト四入賞、全日本ジュニア二次予選では上位ランク入りできるような、更に基礎体力や技術を向上させ、大会で結果を残すことができるよう後輩たちに頑張ってもらっています。

## 卓球部女子

三年二組 高柳里佳子

高総体での結果は、団体初戦敗退でした。決して良い結果とは言いきれませんが、私達の最大の目標である「感謝の気持ち忘れずプレーする」ということは達成出来たと思います。今大会、様々なトラブルがあり万全の状態での団体戦と言えませんでした。仲間の結束の強さはどこにも負けないと思います。

高総体を終えて、私は本当に周りの方々に恵まれていたと思いました。土日も部活動に来てくれた先生、技術だけでなく人として大切な事まで教えてくださった赤羽コーチ、六年間ずっと一緒に戦ってきてくれた仲間。本当に感謝しています。卓球をしてきて、忍耐力、自分で決断する力、感謝の気持ちの大切さなど多くのことを学ぶことができました。その学んだ事や思い出、お世話になった方々を忘れず、大切にしていきたいです。

### ○ソフトテニス部男子

三年二組 小林 蓮

男子ソフトテニス部は、新入部員に恵まれ活気溢れた練習をしてきました。志が高い人達は、練習が終わり暗くなりながらも自主練習をしていますが、部の目標である県大会ベスト16を達成するべく、自分自身の弱い点を見つけて出し、改善するための練習や努力を続けていくつもりです。また、今のテニスがでる環境に感謝し、コート整備やボールの手入れに手を抜かずに取り組んで欲しいと思います。

### ○ソフトテニス部女子

三年二組 古館 史歩

二年生二人、三年生三人の合計五人で活動してきました。少ない人数のため、団体戦では二組しか試合に出られない状況です。そのため、高総体では、二組が必ず勝たなければならぬというプレッシャーがとて大きくありました。そのような中で、一回戦の大野高校戦では、両校のペア数が二ペア同士での戦いでありました。負けはしたものの、途中激しい雨の中、苦戦しましたが、それぞれのペアが最後まであきらめずに戦うことができました。チームとしての一体感を感じました。

### ○硬式野球部

二年二組 柳 翔磨

昨年度の夏の大会が終わり一年近く経ちました。新人チームになって初めの頃は、人数も少なく何をしていたらいいのか分からず、悩む日々でした。しかし、多くの先輩方が、練習に来て手伝ってくださったおかげで、良い練習ができました。

### ○野球部の目標として、自律・自立があります。

今私たちは、練習メニューを自ら考え、チームの弱い点を改善しようという意を出し合っています。そのおかげで、生活面でも、自分の意見をしっかりと持ち、それを伝える力が発揮できています。さらに、練習後に自由時間を作ること、個人の課題の克服にあてることができました。それにより、個々のコミュニケーションが増え、チームの成長と個人の成長をすることができました。

この力を、これからの生活に生かしていき、あと一年でより成長していきます。

### ○剣道部

三年一組 福田 悠奈

私たち剣道部は三人で活動しています。毎週火曜日には中学校に行き、地域の先生方に稽古をつけてもらっています。普段の稽古では、最初に各自で目標をたて、その日の稽古に打ち込みます。月のはじめには、月間目標を立てています。それを毎回積み重ねること、少しでも良い剣道ができるように取り組んでいます。

これからの取り組み、稽古や試合では、個人の力がより必要になります。「二本」を大切に、取り組んでいきます。地域の方と親に感謝しながら、今後も取り組んでいきます。

### ○吹奏楽部

三年一組 上村 来夢

吹奏楽部は、各種大会、行事に向けて練習に取り組んでいます。一年生十名、二年生三名、三年生五名の計二十名で活動しています。現在は、七月七日に行われるコンクール地区大会で金賞をとり県大会に出場できるように頑張っています。顧問の先生や外部の先生、仲間からの助言を大切に、人の心を掴む演奏をしたいと思っています。

### ○音楽部

三年二組 田代 優翔

私たちは少ない人数ですが、毎日目標をもって活動しています。各種コンクールや、町のイベントに向けて日々練習に励んでいます。限られた時間の中で自分たちができることを考え、部員一人一人が主体的に活動しています。今年度も各種コンクールで東北大会出場という目標をかかげ、今までの練習の集大成となるような悔いのない演奏をしようと思っています。

また、町のイベントなど、お声掛けいただく機会を増やせるよう一つ一つの発表を大切に歌っていきたいと思います。

学校の先生方や保護者、外部コーチなど多くの人に支えられて部活動ができていくことに感謝してこれからも練習に励んでいきます。

### ○美術・書道部(美術)

三年一組 井戸 潤七海

美術部は四月に一年生三人が入部し、二年生十一人、三年生二人の計十六人で活動を始めました。現在は岩手県高校総合文化祭に向けて、一人一作品以上を作ることを目標に活動しています。また、各々の個性に合ったコンクールに出品できるように作品を作ることも励んでいます。

学年関係なく、仲良く話したり、協力したりしています。作る作品を自分で決めることで、さらに技術を磨き上げられると思っています。これからの一つのことにとこだわらず、陶芸、油絵や切り絵など、様々なことに挑戦していきたいと思っています。

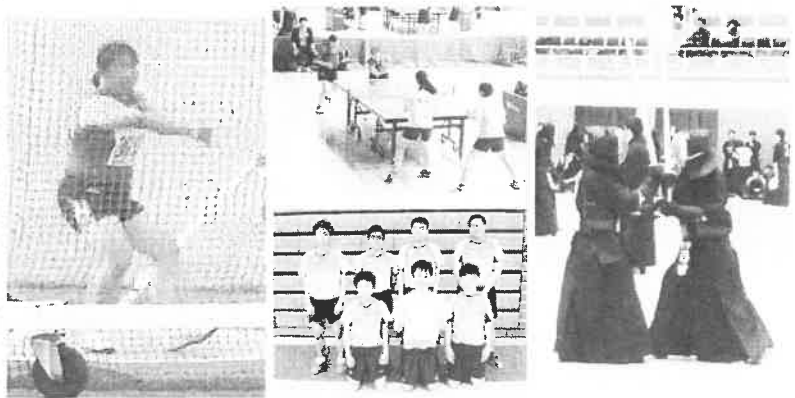
### ○美術・書道部(書道)

三年二組 山根 未鈴

書道部は現在、三年生三名、二年生四名、一年生二名の計九名で活動しています。部員は、岩手県高等学校書道

作品コンクールや全日本高校大学生書道展に向けた作品制作を終え、今度は岩手県高文祭が控えているため、それに向けた作品制作が始まります。書道部では、「技術の向上」「全部員入賞」「集中心力を維持し、自分が納得できるような作品を作る」という目標を設定しているため、達成に向けて日々練習に励んでいきたいと思っています。

書道を通して、納得のいく作品を完成させるために、集中心力を維持すること、諦めずに課題克服のために書き続けること、分らない漢字を自ら調べること、先生のアドバイスを素直に聞き入れ、改善することが大切であることを学びました。後輩達には、日々の練習に集中して取り組み、メリハリのある活動をするように心がけてほしいと思います。そして、全員がたくさん賞を取れるように本気で頑張ってくださいと思います。





# 令和元年度PTA活動 各委員会の様子

## ◆環境整備委員会(担当職員 兼平爵臣)

委員長 荻谷朋幸  
副委員長 松田梨恵  
〈活動内容〉

環境美化活動(校舎前花壇肥料入れ・植栽)

6月20日(木)  
6月27日(木) クラスマッチ初日

## ◆広報委員会(担当職員 小坂縁)

委員長 一條真紀子  
副委員長 宮川沙奈枝  
〈活動内容〉

PTA会報編集

第104号(7月26日発行)  
第105号(2月28日発行予定)

## ◆生活指導委員会(担当職員 中川原冬子)

委員長 大清水文子  
副委員長 五郎丸絵理子  
〈活動内容〉

朝の登校時一声運動

5月7日(火)・5月9日(木)  
秋祭り巡回指導

9月14日(土)・16日(月)  
その他研修に参加

## ◆母親委員会(担当職員 菊地長弘)

委員長 玉館真由美  
副委員長 松田佐津紀  
〈活動内容〉

クラスマッチ飲料水配付

6月27日(木)  
軽高祭カレールームおおかあさん

10月5日(土)

## PTA活動の記録

### 「校舎前花壇植栽」 (環境整備委員会)



環境整備委員会による、花壇の整備が行われました。六月二十日(木)十七時半から土おこしと花壇の肥料入れが行われ、六月二十七日(木)八時から苗を植えました。十一名の参加で、五百本の苗を植えるのは大変な作業かと思われましたが、相談しながらの協力とスムーズな動きで、一時間ほどで無事に終えることができました。今はまだ、小さな苗の状態ですが、きれいな花が咲いた時、どんな彩りの花壇になるのかとても楽しみです。子供達の学校生活の中に、きれいな彩りを添えられたらと思います。

お忙しい中、参加していただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。花壇にきれいな花が咲いてくれる事を願っています。そしてその時は、ぜひ皆さんにご覧いただけたいと思います。

(環境整備副委員長 松田 梨恵)

### 「登校時一声運動」 (生活指導委員会)



五月七日(火)、九日(木)の二日間、PTA生活指導委員会による「登校時一声運動」が行われました。生徒会執行部、先生方、保護者(九名参加)が、正門に並ぶ中、注目されながら登校する生徒達は照れくさそうにしていますが、それでもさわやかに挨拶をしてくれました。

朝は元気が出ない、やる気が湧かないという日もあると思いますが、毎日一日の始まりに気持ちの良い挨拶を心がげ元気に学校生活を過ごして欲しいです。

朝のお忙しい時間に、一声運動に参加下さった皆さま御協力ありがとうございました。

(生活指導副委員長 五郎丸絵理子)

### 「クラスマッチ飲料水配付」 (母親委員会)



六月二十七日、二十八日のクラスマッチでスポーツドリンクを配付しました。この代金は昨年の軽高祭「カレールームおおかあさん」の収益から出したものです。おかげ様で、両日とも一本ずつ差し入れることが出来ました。クラスマッチは軽米テレビでも見られますが、是非、実際に高校に行って応援していただきたいと思えます。テレビには映っていない珍プレー好プレーが満載ですよ。そして、今年も軽高祭「カレールームおおかあさん」を出店しますので、軽高祭でお待ちしております。

(母親委員長 玉館 真由美)

## 軽米高等学校 ホームページ紹介

軽米高校のホームページ、ご覧になったことはありませんか。月二回更新され、行事予定表や部活動の試合結果等、軽米高校の情報を知らることが出来ます。ぜひアクセスしてみてください。

## 編集後記

広報副委員長 宮川沙奈枝

令和を迎え最初のPTA会報をお届けします。たくさんの方々のご協力により、今号も無事発行することができました。本当にありがとうございました。

小・中・高と十五年学校にお世話になっておりますが、広報委員として会報に携わるのは初めての経験でした。実際に活動する中で、普段何気なく話している言葉を、文章に表す難しさを痛感しました。

慣れない作業に戸惑いながらもではありますが、広報委員一同力を合わせ頑張りますので、今後とも宜しくお願致します。

### 発行

岩手県立軽米高等学校 PTA事務局

電話 0195462320

FAX 01954613928

印刷 太陽の里